

(第2号様式)

本部第2262号
令和6年3月25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立本部学校
校長 仲地 範禮
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月10日	場所	本校小講義室	出席状況	4人
第2回	日時	12月19日	場所	本校小講義室	出席状況	5人
第3回	日時	3月14日	場所	本校小講義室	出席状況	3人

2 学校評議員に求めた事項

- ①本年度の学校経営目標の実現に向けた、特色ある取り組み等に関する事項への意見
- ②学期毎の生徒の就業状況、学習状況報告への意見
- ③進路指導の取り組みと進路状況報告への意見
- ④生徒指導の取り組みの報告への意見

3 学校評議員の意見

- ①入学志願者が減少している。地元の生徒・保護者へ本校の魅力や学校の特色を如何に伝えるか、更なる工夫が必要である。
- ②校則緩和について、本部高校独自の取り組みか。
- ③ウエイトリフティング部や情報サイエンス部での優秀な結果に大きな拍手を送る。新聞に掲載される毎に感激している。その他の部活動の状況が憂慮される。
- ④勤怠状況が良くない傾向があるが、その原因等をどう分析されているのか。
- ⑤進路決定率が高くて良い。また、大学入学前課題の取り組み状況も素晴らしい。さらに、将来設計を早い段階から取り組めると良いかと思います。

4 学校運営に反映した事項

- ①学校紹介ビデオを作成し、連携中学校での常時上映を行った。さらに、SNS等による動画配信にも取り組んだ。学校案内ポスターやリーフレット等も工夫・改善し、本校の魅力を生徒、保護者、地域に発信することができ、志願者が倍増した。
- ②全職員で積極的な生徒指導に取り組み、校訓「自治・対話・創造」のもと、生徒との「対話」による校則改定を行い、自主的に考える生徒の育成に取り組んだ。
- ③連携中学校との連携を密に、部活動での連携を深めることに取り組んだ。
- ④指導の個別化・学習の個性化を図り、確かな学力と基本的な生活習慣の確立に取り組んだ。
- ⑤「スタディーサプリ」や「すらら」の導入による基礎学力向上、ビジネス探究導入によるキャリア教育の充実に取り組んだ。

5 課題その他

- ①地域及び連携中学校との情報共有や活動連携を深める必要がある。
- ②基本的な生活習慣や校則について、さらに「対話」を深め、「生きる力」を持ち合わせた生徒の育成が必要である。
- ③令和の部活動の在り方を研究し、諸活動の活性化を図る必要がある。
- ④積極的な生徒指導の実践により、基本的な生活習慣の確立と個性の伸長を図る必要がある。
- ⑤さらなる情報発信の工夫を行い、本校の魅力を発信する必要がある。